

慶應志木会会報

慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)

2013  vol. 33

塾員注目!



志木会大会いよいよ



平成 25 年

11月9日(土)

於・グランドプリンスホテル新高輪

会長ご挨拶

慶應志木会会長 松下 賢次



志木会会員の皆様お元気ですか。

皆さんは、諦めカマスのお話を御存知ですか？ 大きな水槽の片方でカマスを飼っています。真中には透明な仕切りがあります。カマスのいない方に、毎日毎日餌を撒きます。カマスは餌が欲しくて、透明な仕切りに何度も何度も激突します。何回も繰り返すうちにカマスはついに諦めて餌を取りに行かなくなります。しまいには透明の仕切りを外してもカマスは反対側に行こうとしなくなります。これを「諦めカマス」と言います。これは現代人が少し努力しただけで上手いかなと、直ぐに諦めてしまう事を連想させます。

然しノーベル賞の山中伸弥教授や野球の王貞治さんイチローさん等の「偉大な成果を」上げられた方々の御話をお聞きしていると、「絶対に諦めない・飽くなき探求心」があるからこそ、栄光を勝ち取る事が出来たのだと。納得する事が出来ます。

私達も志木高での3年間に、人生で一番多くのチャレンジを経験した記憶があります。この経験が、後の人生において「諦めカマス」になることなく次々に挑戦をし続けられた原点になっていると確信しています。

今年、私達の志木会は、新しい志木大会に挑戦します。皆様も奮ってご参加頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

11月9日「慶應志木会大会」会費の納入について

大会会費は同封の振込用紙で「慶應志木会費」と合わせて振込みをお願いします。

「☐ 志木会費だけ」または「☐ 志木会費+大会費」のどちらかにチェックをつけ金額を記入して振り込んでください。

事前に「志木会費」と「大会費」を合わせて振り込んでいただいた方には当日記念品を贈呈いたします。

大会当日には振込みの控をご持参下さい。



新任名誉会長ご挨拶

慶應義塾志木高等学校校長
慶應志木会名誉会長

高橋 郁夫

今年も『慶應志木会会報』（第33号）が発行されましたこと、心よりお慶び申し上げます。会員相互の、それに母校とのコミュニケーション・ツールとして毎年楽しみにされておられる方も多いことと思います。志木会の皆様には、「慶應志木会奨学基金」や「慶應志木会賞」など日頃ご支援を賜わり、何よりもまず感謝申し上げます。

慶應志木会幹事新年会でご挨拶させて頂きましたが、昨年10月より任期満了により退任された下村裕前校長に代わり、校長に就任しました高橋郁夫でございます。大学（商学部）および大学院ではマーケティング論を教えています（研究室のホームページ：<http://news.fbc.keio.ac.jp/~takahasi/>）。また、今年の3月末まで體育會合氣道部の部長を13年間務めておりました。慶應義塾には社中という言葉がありますように、卒業生のお力も借りながら、教職員と共に慶應志木高の発展のために微力を尽くして参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

さて、桜が満開となった去る3月24日、第63期生248名が学窓を巣立って行きました。卒業式には卒業40年を迎えたOBが多数お越しになり、後輩達の卒業を温かい目で見守って下さいました。新しい志木会メンバーを歓迎くださり、誠にありがとうございました。

また、4月7日には、254名が新たに入学しました。この日は爆弾低気圧の通過が予想されていましたが、開式を4時間ほど遅らせる措置を予め取っていたため、大きな混乱もなく入学式を執り行うことができました。慶應志木高の豊かな自然とアットホームな校風の中で彼らが充実した3年間を過ごしてもらえよう教職員一同対処して参る所存です。

なお、本校では、昨年の夏にホームページを全面的にリニューアル致しました。そこでは、学校案内、教育内容・活動状況、入試・進路、生徒・卒業生の活躍などの最新情報を適宜発信しております。母校の現状を知るメディアの一つとして、ぜひご活用頂ければと思います。

最後になりましたが、松下賢次会長をはじめとする志木会の皆様には、今年もこれまでと同様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。収穫祭などの機会を捉え、ぜひ懐かしの母校に皆様お誘い合わせの上、足をお運び頂ければ幸いです。会員各位のご健勝と貴会の益々のご発展を心よりお祈り致します。



新任主事ご挨拶

慶應義塾志木高等学校主事
慶應志木会副会長

大塚 彰

本年4月より主事を務めることになりました大塚です。志木会の皆様には日頃より大変お世話になり、まことにありがとうございます。

本校は1948（昭和23）年に農業高校として開校し、今年で開設65年を迎えます。この間、本校は慶應義塾一貫教育の一翼を担ってまいりました。その伝統の中で現在の生徒も充実した高校生活を送っております。クラブ活動も盛んで、昨年度も体育系・文化系それぞれ複数のクラブが関東大会や全国大会に出場し活躍しました。

福澤諭吉先生は19歳のときに故郷中津を離れて長崎で一年間蘭学修業をした後、1855（安政2）年に大阪に行き、恩師となる緒方洪庵の適塾に入門しました。福澤先生は1858（安政5）年に中津藩の命を受けて江戸へ出府し慶應義塾の起原となる蘭学塾を開きますが、それまでの約三年間適塾で学び、そこで生涯の友を作り、蘭学の力を向上させました。この時期の生活と勉学については『福翁自伝』に生き生きと描かれています。

適塾時代の福澤先生と同様、慶應義塾で学ぶ志木高生にとっても友人を作ることと勉学すること、この二つが学校生活において大切なことであると思います。志木高生がクラブ活動等の課外活動にも熱心に取り組む豊かな友人関係を育みながら、学習活動を高校生活の基本として勉学に取り組んでいる姿勢は、志木会の諸先輩方から後輩が受け継いでいる本校の良き伝統であると考えております。我々はこれからも生徒一人ひとりが人間関係においても学習活動においても有意義な高校生活を送れるよう支えてまいる所存です。

志木会の皆様には今後ともご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

慶應志木会の皆様へ

慶應義塾志木高等学校前校長
慶應志木会前名誉会長

下村 裕



慶應志木会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、ご報告が遅れましたが、昨年の2012年9月末日、私は任期満了に伴い慶應義塾志木高等学校長を退任いたしました。後任には高橋郁夫商学部教授が着任され、既に半年が経過しております。

私は、2006年10月1日より3期6年間、学校長を務めさせていただきましたが、その間、鹿野前会長と松下賢次現会長を初めとする志木会の皆様には、さまざまなご協力・ご支援をいただきました。特に、着任直後の「慶應志木会賞」と慶應志木会20周年を機とした「慶應志木会奨学基金」は、皆様のご厚意によって創設されたものです。ここにあらためて御礼申し上げます。

6年間に東日本大震災を含め実に様々なことが起きました。主事と事務長を中心とする教職員とともにその一つ一つに悩み、考え、対処いたしました。どう解決すべきか判断が大変難しい場合もありました。時に、私の判断は正解ではなかったかもしれませんが、すべて真剣に取り組みました。

この任務を終えた現在でさえ、まだまだ若輩者ですが、志木会の皆様との出会いは私の大きな財産です。これまでのご厚誼を感謝いたしますとともに、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

2009年秋、第3学年見学旅行を引率した折に参拝した太宰府天満宮では、菅原道真が都を去る時に詠んだ和歌が歌碑に刻まれていました。

「東風吹かば 匂ひおこせよ 梅の花 あるじなしとて 春な忘れそ」

お粗末ながら、この名歌にならって私も一首。

「秋来れば 紅き実を成せ 柿の木よ 翁去りとて 若人集う」

末筆ながら、慶應義塾に務める一教員として、慶應義塾志木高等学校と慶應志木会の更なる発展をお祈りいたします。

慶應志木会の皆様へ

慶應義塾志木高等学校前主事
慶應志木会前副会長

河野 文彦

2012年度をもって任期を全うしました。在任中はご指導をいただきましてありがとうございました。

今後も志木会の皆様と共に、志木高のさらなる発展を目指して努力したいと考えております。

志木高教職員の動向

退 職

非常勤講師 4 名
嘱託職員 2 名

新 任

非常勤講師 4 名
嘱託・派遣職員 2 名

人事交流による異動

中地 譲治君 (志木高→SFC 中高→志木高)
鈴木 平君 (志木高→慶應高校)

訃 報

武田庄三郎君 元国語科教諭
奥井 泰夫君 元数学科教諭
中野 圭二君 元英語科教諭 ご冥福をお祈りいたします

「志木会奨学基金」の募集は続きます

会員各位のご協力によりスタートいたしました「慶應志木会奨学基金」が平成 21 年秋から生徒への給費を開始いたしました。ご協力をいただきました皆様に感謝申し上げます。

しかしながら、現在の基金額は運用益を確保し、安定した給費を継続できる十分な額とは言えません。長期的に安定した給費の継続と給費対象者・給費額の拡大を図るために、志木会では寄付金の募集を継続しておりますので、是非ともご協力を賜わりたく、心からお願い申し上げます。

なお、「慶應志木会奨学基金」に用途を指定した寄付となるため、用途指定をした寄付申込書が必要になります。寄付に対する減免措置については従前どおり慶應義塾基金室から領収書並びに所得税、法人税の寄付金控除証明書が送付されます。

【募金要綱】

慶應志木会奨学基金

- 募金単位 1 口 一万円
- 払込方法 従来の口座振り込みから塾の基金室へ変更になりました。
詳細は慶應志木会事務局までご連絡下さい。

TEL 048-471-1959 E-mail info@keio-shikikai.jp

志木会大会実行委員長ごあいさつ

大会実行委員長 逢沢 一郎



今年の秋11月9日の志木会大会が一日一日と近づいてまいります。5年に一度の大同窓会です。各学年で是非広くお声掛け頂き、皆様お揃いでご出席くださいますよう心よりお願い致します。

同窓生の皆様は志木高を卒業され慶應義塾大学をご卒業後、各界でご活躍でございます。5年に一度の大会は我々同窓生にとりまして貴重な再会の場です。旧交を温め、励まし合い、志木高のパワーをさらに高める機会にしようではありませんか。私ども実行委員会といたしましては、出来るだけ楽しい、思い出に残る大会とすべく知恵をしぼり努力、奮闘中でございます。奥様やお子様方にも喜んでいただける、楽しんでいただける会にしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

今年3月、私ども志木高23期卒業生は、卒業40周年ということで、志木高卒業式にお招きいただきました。私もあの懐かしい東武東上線の電車に乗って志木高にまいりました。やはり母校はいいですね。青春の記憶がいっぱいつまっているのが志木のキャンパスです。とりわけ私は3年間寮でお世話になっておりました。有隣寮、高翔寮、楽しかったです。その寮が今はなくなってしまったのが、少し残念ではありますが、志木を語る度に多くの記憶が蘇ります。同窓生の皆様も同様のことと存じます。

お陰様で同窓生の皆様のご指導をいただきながら国政の場で全力投球の日々でございます。日本のパワー全開に導けるよう努力を重ねてまいります。

それでは健康にご留意され、日々ご活躍ください。11月9日の志木会大会でお目にかかれること心より楽しみに致しております。

11月9日「慶應志木会大会」会費の納入について

大会会費は同封の振込用紙で「慶應志木会費」と合わせて振込みをお願いします。

「☐ 志木会費だけ」または「☐ 志木会費+大会費」のどちらかにチェックをつけ金額を記入して振り込んでください。

事前に「志木会費」と「大会費」を合わせて振り込んでいただいた方には当日記念品を贈呈いたします。

大会当日には振込みの控をご持参下さい。

志木高・志木会行事日程

	慶應志木会		志木高等学校
	25年度予定	24年度実績	25年度予定
4月	4/28 枇杷の会 (西新井大師門前と境内 付近)		4/7 入学式 4/18 定期健康診断
5月	5/25 *志木高自然観察会 (14:00～16:00) 5/30 幹事総会	5/18 幹事総会 5/19 *志木高自然観察会 (14:00～16:00) 5/26 枇杷の会 日暮里～谷中界限 (12:00～)	5/14 運動会 5/20～22 1年総合学習研修旅行
6月	6/8 第10回5高JKカップ	6/2 5高JKカップ 6/13 5高合同懇親会 6/25 会報発行	6/25～29 第1回 定期試験
7月	会報発行		7/1～3 クラスマッチ 7/6 第114回 志木演説会 7/22～ 夏季休業
8月			
9月	9/21 *志木高自然観察会 (14:00～16:00)	9/15 *志木高自然観察会 (14:00～16:00) 9/15 枇杷の会 (新宿御苑)	～9/7 夏季休業終了 9/9 授業開始
10月	10/5 歩こう会 丸の内界限 10/26 ホームカミングデー (収穫祭:38期&13期)	10/27 ホームカミングデー (収穫祭:37期&12期)	10/8～11 2年研修旅行 10/7～11 3年見学旅行 10/26・27 収穫祭
11月	11/9 志木会大会 (グランドプリンスホテル新高輪) 11/16 テニス大会 (13:30～志木高)	11/17 テニス大会 (13:30～志木高) 雨天の為中止	学校説明会 11/18～22 第2回 定期試験 11/25～27 クラスマッチ
12月			マラソン大会 12/19 第115回 志木演説会 12/20～ 冬季休業
1月			～1/7 冬季休業終了 1/8 授業開始 1/14～17 自己推薦入試 第3回 定期試験(3年)
2月	幹事新年会	2/21 幹事新年会	一般・帰国入試 2/21～25 第3回 定期試験 (1・2年)
3月	3/23 卒業式 卒業40周年(24期)	3/24 卒業式 卒業40周年(23期)	3/23 卒業式

* 志木高校内自然観察会は宮橋教諭(理科)を中心に近隣者を対象に開催されます
(卒業生10名様受付) 注) H24年度より14:00～16:00の開催となります



「慶應志木会賞」について



慶應志木会賞は、クラブおよびその他の活動において、特に功績のあった団体または個人の業績を称え、もって学校生活の向上に資することを目的として平成19年3月の卒業式に初めて贈呈されました。体育、文化、一般の3部門において教員からの推薦をもとに選考委員会で決定いたします。本年度で7回目を迎えます。

本年度は、競走部、端艇部、ワグネル・ソサイエティー男声合唱団、軟式野球部の4団体と4名の生徒を表彰いたします。

1. 競走部 3年生4名

- ①第74回奥多摩溪谷駅伝競走大会 平成24年2月 優勝
- ②第63回全国高等学校駅伝競走大会埼玉大会 2時間21分14秒 志木高校記録

2. 端艇部 3年生12名

- ①平成23年度県民総合体育大会兼高等学校新人大大会ボート競技会 平成23年9月 男子舵手付クォドルブル 優勝
- ②第61回お花見レガッタ 平成24年3月 男子舵手付クォドルブル 優勝
- ③第81回早慶レガッタ 平成24年4月 高校舵手付クォドルブル 優勝
- ④関東高等学校体育大会ボート競技県予選会 平成24年5月
男子舵手付クォドルブル 2位、男子ダブルスカル 優勝
- ⑤平成24年度関東高等学校ボート大会兼第52回関東高等学校選手権競漕大会 平成24年2月
男子舵手付クォドルブル 2位
- ⑥平成24年度学校総合体育大会兼高等学校総合体育大会ボート競技県予選会（インターハイ埼玉県予選）
平成24年6月 男子舵手付クォドルブル 4位、男子ダブルスカル 優勝
- ⑦平成24年度全国高等学校総合体育大会ボート競技大会兼第60回全日本高等学校選手権競漕大会（インターハイ）
平成24年8月 男子ダブルスカル 準々決勝進出

3. ワグネル・ソサイエティー男声合唱団 3年生10名（4年連続）

- ①第55回埼玉県合唱コンクール（埼玉県合唱連盟 朝日新聞社主催）シード
- ②第67回関東合唱コンクール（関東合唱連盟 朝日新聞社主催）金賞受賞（5位）

4. 軟式野球部 3年生9名

- ①平成23年度埼玉県高等学校軟式野球秋季大会 優勝
- ②平成23年度秋季関東高等学校軟式野球大会 ベスト8

5. 囲碁将棋部 竹田和正君

- ①第25回関東高等学校囲碁選手権大会埼玉県大会 平成22年11月 男子個人優勝
- ②第26回関東高等学校囲碁選手権大会 平成23年1月 男子個人出場
- ③第54期埼玉囲碁名人戦 平成24年2月 準優勝（社会人も参加、高校生で初）
- ④第36回全国高等学校総合文化祭囲碁部門 埼玉県代表候補者最終選考会 平成24年5月 3位
- ⑤第36回全国高等学校総合文化祭囲碁部門 平成24年8月
団体戦に埼玉県代表チーム副将として参加 第7位（参加46チーム）

6. 大戸雄真君

日本倫理・哲学グランプリ 平成24年12月 銀賞

※国際大会の日本代表選考会においても代表2名の実力があることが認められたが国際大会の開催される平成25年5月時点において高校生でないため辞退した。

・「日本倫理・哲学グランプリ」はInternational Philosophy Olympiadとして平成5年から始まった世界中の高校生対象のエッセイコンテストの国内予選、入賞者4名で行われる日本代表選考会ではその場で英文エッセイを書く課題がある。

7. 山崎優樹君

- ①第36回全国学生書写書道展 平成24年9月 全書会賞（全国10位）
 - ②第67回日本書道美術院教育部展 平成25年1月 日本書道美術院理事長賞（全国4位）
 - ③第21回国際高校生選抜書展 平成25年2月 入選
- ※志木高には書道部が無いため応募手続き等すべて本人が行った。

8. 大倉佑介君

平成24年度株式学習ゲームに関する感想文・小論文コンクール 平成25年2月 高校生の部 全国 最優秀賞

日本証券協会主催の「株式学習ゲームに関する感想文コンクール」は昨年度も優秀賞、奨励賞の受賞者が志木高から出ている。大倉君は全国1位である最優秀賞を受賞した。

9. 田村優太郎君

平成24年度株式学習ゲームに関する感想文・小論文コンクール 平成25年2月 高校生の部 全国 優秀賞

田村君は全国2位である優秀賞を受賞した。

體育部會NOW | 第13回

競走部 部長 大滝 学

競走部は今年度 35 名です。駅伝部というか最近はやりのランニングクラブ化している感じがします。それも中学時代に実績のある選手はいないどころか、「走るのが苦手なので強くしてもらいたい」などと夢のようなことを言って入部してくる生徒もいます。あまりにも走れないので正直どうしようと憂鬱な春ですが、頑張りはきく生徒たちなので数か月すると何とかなる毎年です。素人集団ですが、3 年間みっちりたたき上げることで駅伝では名のある学校と闘えるようになっています。挑戦者の強みをいかんなく発揮しながら、自己鍛錬をチームの力を借りて楽しませているつもりです。

昨年度は第 74 回奥多摩溪谷駅伝において優勝を飾りました。優勝旗にある歴代優勝校の名前は駅伝の名門校ばかりで、そこに名前を連ねることになったのは志木高競走部にとって歴史に残る荣誉では、と昨年の生徒たちを送り出したところです。これは昨年度の生徒がたまたま強かったわけではなく、いつの時代の生徒も限界に近いところまで必死に頑張っており自然な流れの中での勝利だったと感じています。安定した結果を残す中で運がようやく味方したといったところでしょうか。

校内に活動できる場所がないこともあり、周辺の競技場に向かうことがほとんどで、場所や時間に関してはそれなりに苦労していますが、生徒たちの意識は高く、そういうことでブレる生徒たちではありません。自分自身にチャレンジしてみたい生徒に頑張り甲斐のある競技意識の高いチームを保ち続けられるよう努力したいと思います。

文化部会NOW | 第13回

生物部 部長 井澤 智浩

生物部は現在 5 名で活動しています。ここ数年、そのくらいの少人数で地味ですが、校内の自然環境を守る活動を地道に続けている唯一の部だと思います。

そんな生物部ですが、創部は硬式野球部と並ぶくらいに志木高では最も古くからある部と聞いています。途中 90 年代に部員数が減り、天文部と統合され自然観察部となった時期もありましたが、OBの方々の支援もあり復活して今日に至っています。ただ最近の部員は生き物のことはほとんどわからず、かつての OB が残した昆虫標本などに驚嘆するばかりですが、生き物を愛する気持ち、自然を愛する気持ちは変わっていないと思っています。

普段の主な活動は、校内や志木近辺の生物調査、特に校内のビオトープの管理、観察などです。埼玉県内の絶滅危惧種などを集めて、一度はきれいに完成したビオトープでしたが、誰かがアメリカザリガニを放したために破壊されてしまった池を復活させるべく、ザリガニとの格闘がここ数年続いています。それから、農園における再生農業、有機農業にも取り組んでいます。かつて、生き物は田んぼや雑木林などで人間と共生していた時代がありました。あの絶滅してしまったトキも、たくさんの昭和初期には、田んぼで生活していたといいます。その頃の時代の農薬や化学肥料を使わない農業は、たくさんの生き物を救うことにもなるというコンセプトで、そうした農業に取り組んでいます。現在、田んぼは 3 年生の国語の授業で稲作を行っています。見事にたくさんのメダカやドジョウ、ヤゴが泳ぎ、生き物の宝庫となっています。

今日もまた、田んぼに新しい種類のトンボがやってこないかと長靴をはいてパトロールするへんな高校生がいます。それが生物部員です。

●●● クラブ戦績 ●●●

クラブ	戦 績
体育部会	
硬式野球部	H24 選手権県大会 2回戦 0-7 市立川越 新人大会 1回戦 2-3 市立川口 秋季地区予選 1回戦 1-8 大宮東 H25 春季地区予選 1回戦 10-0 大宮北 代表決定戦 2-0 朝霞 県大会 1回戦 12-2 深谷・妻沼 2回戦 3-0 南稜 3回戦 2-7 川越東
競走部	慶應志木会賞受賞
卓球部	新人大会 男子団体 西部地区大会 2回戦敗退 関東大会兼インターハイ予選 男子団体 西部地区大会 2回戦敗退
蹴球部	新人戦 県3位 関東大会予選 県4位 関東大会出場 全国大会予選 県ベスト4
庭球部	H24 新人戦 個人戦 埼玉県大会出場者 シングルス ベスト64 2年 田島・樋口・後野 ダブルス ベスト32 2年 田島・樋口 団体戦 埼玉県ベスト8 H25 個人戦 埼玉県大会出場者 シングルス ベスト32 3年 田島 ベスト128 3年 樋口・後野・榊 ダブルス ベスト64 田島・樋口 団体戦 埼玉県ベスト8 *ベスト8の学校のみ出場できるインターハイ予選会(6月開催)に出場決定
端艇部	慶應志木会賞受賞 埼玉県高等学校新人ボート大会 男子シングルスカル 優勝 男子舵手付きクオドルブル 優勝 関東高等学校選抜ボート大会 男子ダブルスカル 優勝 男子舵手付きクオドルブル 第2位 全国高等学校選抜ボート大会 男子ダブルスカル 第8位 男子舵手付きクオドルブル 第7位
柔道部	(休部中)
バレーボール部	H25 新人大会 西部支部予選 1回戦 対所沢西 2-0 2回戦 対狭山工業・川越工業・所沢商業(合同チーム) 2-0 3回戦 対坂戸西 0-2 県大会 1回戦 杉戸高校 0-2 関東大会予選 西部支部予選 1回戦 対武蔵越生 2-0 2回戦 対所沢 2-0 3回戦 対西武文理 0-2 県大会 1回戦 対進修館 1-2
ホッケー部	ウインターカップ 11位 H25 東日本ホッケー大会 8位、11位 全国大会県予選1次予選 3位 全国大会県予選2次予選 3位
サッカー部	新人戦 西部支部決勝トーナメント ベスト32 1回戦 1-3 山村国際 インターハイ 西部支部予選 2回戦 1-3 坂戸西
バスケットボール部	H24 ウインターカップ予選 埼玉県 ベスト8 新人戦 埼玉県 準優勝、関東大会出場
弓術部	全早慶高等学校弓道大会 第2位 全国選抜県予選 団体3位 個人1位(秋山大地) 全国高等学校弓道選抜大会 個人出場(秋山大地) 西部地区高等学校弓道春季大会 団体1位
ゴルフ部	関東高等学校ゴルフ選手権大会埼玉県大会出場(個人・団体戦) 埼玉県高等学校ゴルフ連盟研修競技会出場 慶早戦出場 関東高等学校ゴルフ選手権秋季大会埼玉県大会出場(個人戦)
剣道部	西部地区高等学校剣道大会(団体) 3回戦敗退 西部地区高等学校剣道大会(個人) 浅見 3回戦敗退 関東大会予選出場 木村 3回戦敗退 田村 3回戦敗退 土屋 2回戦敗退 関東大会予選(個人) 浅見 1回戦敗退 関東大会予選(団体) 3回戦敗退 埼玉県剣道大会(団体) 2回戦敗退 インターハイ予選(個人) 浅見 3回戦敗退 田村 4回戦敗退 第56回五大学附属剣道大会 第6位(10校) 埼玉県私学大会 決勝リーグ進出 浦和高校定期戦 慶應義塾高校との合同チームで勝利 早慶高校対抗剣道試合 新人戦 勝利 本戦 勝利 新人大会地区予選 3回戦敗退 埼玉県剣道大会 池田 2回戦敗退 柳橋 1回戦敗退 埼玉県新人大会 2回戦敗退
スキー部	インターハイ県予選 駒井 GS DF 竹内 DQ 石田 GS 36位 南 49位 高田 53位 SL 駒井 DF 石田 33位 南 44位 竹内 45位 少年新人 GS 駒井 14位 南 26位 宮田 37位 埼玉県選手権 SL 石田 DF
ソフトテニス部	埼玉県選手権大会 2ペア 3回戦進出 東京六大学附属系属高校大会個人の部 ベスト16
水泳部	国体予選 200mバタフライ 松本宗一郎：18位 400m自由形 松本宗一郎：22位 200mメドレーリレー(石倉・渡邊・松本・岡安)：20位 200mリレー(岡安・渡邊・石倉・松本)：22位 新人大会 200mバタフライ 松本宗一郎：10位 400m自由形 松本宗一郎：18位 100m背泳ぎ 石倉史也：24位 50m自由形 岡安弘暉：29位 100m自由形 岡安弘暉：29位 100m平泳ぎ 渡邊充：29位 400mメドレーリレー(石倉・渡邊・松本・岡安)：19位 200mリレー(岡安・渡邊・石倉・松本)：20位 400mリレー(松本・渡邊・石倉・岡安)：21位 三支部合同大会 200mバタフライ 松本宗一郎：10位 200m個人メドレー 松本宗一郎：12位 50m背泳ぎ 石倉史也：10位 200m平泳ぎ 渡邊充：14位 100m背泳ぎ 石倉史也：22位 100mバタフライ 渡邊充：24位 200mリレー(松本・渡邊・石倉・柴田)：21位 200mメドレーリレー(石倉・渡邊・松本・柴田)：22位
軟式野球部	慶應志木会賞受賞 H25 埼玉県高等学校軟式野球 春季大会 ベスト4 第61回 春季関東高等学校 軟式野球大会 出場
空手	関東大会埼玉県予選会 出場 東京六大学空手道選手権 高校生の部 個人戦優勝 全国大会埼玉県予選会 個人組手 ベスト16 埼玉県新人戦 出場
文化部会	
器楽部	第53回 埼玉県吹奏楽コンクール 高等学校Bの部 金賞受賞 第18回 西関東吹奏楽コンクール 高等学校Bの部 金賞受賞 および3年連続代表選出により特別表彰 第12回 東日本学校吹奏楽大会 高等学校の部 金賞受賞 第18回 日本管楽合奏コンテスト全国大会 高等学校A部門 優秀賞受賞 平成24年度 慶應義塾「塾長賞」受賞
ワグネル・ソサイエティー男声合唱団	慶應志木会賞受賞
囲碁将棋部	慶應志木会賞受賞(竹田 和正)

慶應志木会会員各位

慶應志木会
会長 松下 賢次

—— 会費納入のお願いについて ——

会員の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

同窓会の発足以来、種々の活動を通じ会の基盤作りに邁進して参りましたが、お陰さまで会の運営も順調に推移いたしております。これも偏に会員の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝いたしております。

本年11月には第6回大会をグランドプリンスホテル新高輪にて開催いたしますので、是非ともご出席いただきますようお願い申し上げます。

新体制のもと第6期がスタートしておりますが、今後の活動と大会に向けて「慶應志木会」の一段の充実と発展のために会費納入のご協力をお願い申し上げます。

会費につきましては発足時より5年を一区切りとして大学を卒業された会員諸兄から年会費二千円を一括して「5年分一万円」のご協力をお願いいたしております。

会費の値上げも検討いたしましたが、第6期分につきましても厳しい経済情勢下ではありますが従来同様一万円にてお願いさせていただくことになりました。

納入方法につきましてはお手数ですが同封の振込用紙をご使用の上、お近くの郵便局よりご送金下さいますようお願い申し上げます。

会員の皆様におかれましては引き続きご理解の上、ご協力賜りますよう心よりお願い申し上げます。なお、分割納入を希望される方は振込用紙の通信欄にその旨記載の上、今年度分の二千円を納入下さい。

記

振込金額 10,000円

銀行からの振込先

取扱金融機関 全国ゆうちょ銀行

ゆうちょ銀行 〇一九支店

払込期日 早期振込にご協力下さい

当座 0537748 慶應志木会

<問合せ先>

* 志木会事務局 Tel 048-471-1959 (志木高内)

Fax 048-471-1974

同期会 &OB会だより

1期 同期会便り

今年の2月、1期生幹事として幹事新年会に出席した際、新たに3月に卒業する63期生の幹事が紹介されました。我々1期生が卒業以来60年以上も経たことを改めて認識し、感慨も一入でした。齢を重ねて80年、同期の友もひとり、ふたり、と旅立って行き、人数が減り、かてて加えて同期会の肝煎であった大谷熙君が亡くなったこともあって、同期会は此の数年間開催されて居りません。

我々1期が学校の援助に依って創立した野球部の当時のレギュラーメンバー9名のうちピッチャーの岩田英作君、センターの小森光哉君、ショートの佐野孝行君、サードの森永栄一君（2期）がこの世を去り、残ったのはセカンド小生とレフト稲葉義美君、ライト蓮見栄三郎君、ファースト櫻井（旧姓小川）栄三君、キャッチャー佐藤邦雄君となりました。何やら寂しい話となりましたが、残された我々が元気に、永く、楽しく余生を過ごすことが、亡くなられた仲間達への供養になるのではないかと思います。居ります。

1期 藤井 淳

5期

第144回 100クラブゴルフ会の報告

5期の仲間を中心に“やるなら、100回は、

やろうよ”と言う事で始まったゴルフ会とタウンミーティング（飲み会）が、今回で144回を迎えた。

4月4日、桜が満開の「飯能ゴルフクラブ」で、大塚宣夫さん（10期卒・青梅&よみうりランド病院オーナー会長）のご紹介で、幸せなゴルフ会を楽しませて頂いた。スコアよりも、春爛漫の桜が最高の思い出となった。

当日は、ロスアンゼルスから多木温久（野球部エース投手・ホテル経営）四国は松山から安川通夫（バトミントン部）大阪から柏井一良（軟式野球部）等、遠来の仲間も加わり、賑やかな一日であった。

ゴルフ終了後、都内に場所を移し、遠来の三君を囲んで、深夜の深まりも忘れて、大いに盛り上がった。但し、声が大きい割に酒量が落ちているのが少し気になった。

100クラブのゴルフ会も来年の秋には150回を迎える。今から、記念行事を皆で検討しているが、全員が喜寿を超えと言う充分な後期高齢者となり、タウンミーティングと相俟って、生存会員全員が健康で、楽しく参加出来ることを願うや切なり、である。

5期 宮田 勝



当日の参加者

多木温久、大山隆義、柏井一良、小林石三、佐藤順一、知恵子、関山清、千勝公一、寺嶋延行、藤井淳（1期）、宮田勝、村山正、森田忠次郎、安川通夫、吉田継雄

11期

「遊志会」

11期「遊志会」は、平成24年度も①第82回ゴルフコンペ（6月7日）、②ワインテイティングの夕べ（9月20日）、③M.D.北原光夫君の健康講座（10月11日）、④第83回ゴルフコンペ（10月29日）、⑤スカイツリー見学&神谷バー宴会（12月17日）、⑥フィリピン（マニラ）旅行（本年2月4～7日）、⑦総会（4月11日）の各イベントを開催、特に⑥は12年ぶりの海外イベントになりました。また、このたび会報「遊志会 会員だより」を2年ぶりに発行し、この1～2年の様々なイベントの記事・写真や会員よりの投稿を掲載する等、情報交換の場として役立てています。

平成25年度も新幹事のもと、ゴルフコンペ等の恒例行事に加え、趣向を凝らしたイベントを企画し、会員相互の親睦を更に深めていきたいと思ひます。

11期 馬淵祥宏



にて古希のお祝いを致しました。

我々8名と監督が野球の話になると鶏のチャボのような戦闘的な喋り方をすることから、会の名前は「チャボ八会」。

チャボ八会も高校卒業当初からですから50余年続いており、毎年2～3回開催しております。

当日は一年先輩の桜井馨氏を交え、思ひ出話の多い高校3年間の野球談義で楽しい一時を過ごしました。

皆が会う度に必ず話題になるのが選抜予選、秋の県大会決勝で、1対0で大宮高校に敗れ、甲子園の夢が絶たれた試合です。

70年の人生の中で一番悔しい思ひ出です。

我々8名は本当に「良き球友」であり、しっかりと「絆」で結ばれています。

これからも全員が健康で、チャボ八会が長続きするように頑張ります。

12期 亀山修明



前列左より水澤監督、桜井馨、桜井聖剛、稲生元信、伊藤清一

後列左より亀山修明、山田宏平、石橋剛道（現姓玉置）、佐々木孝佳、品川雅貴

12期

全員、
元気で古希を祝いました

12期野球部8名と水澤陽一監督（4期）を交えて、昨年11月に日本橋の割烹料理屋

13期

今年は卒業50年、
集まって祝おう！

13期の皆様、秋に学校で会いましょう。
我々の会、「四（よん）木（もく）会」は、

志木を文字って第四（し）木（き）曜日に毎月開催してきました。塾卒業25年目の卒業式招待に対する御礼寄付集め？ がきっかけとなって発足しました。約（およそ）25年間は山田益弘君の店—六本木の「貴奈」、2年前からは田島正昭君の店—銀座木挽町の「暫亭」で毎月開催してきています。

10年前は卒業40年と云う事で志木高から卒業式に招待され、参列した60数名の仲間と懐かしく構内を巡り、会場を森田亘一君の店に移動して大いに盛り上がったことが思い出されます。

今年は卒業して50年を迎えます。是非皆様でお祝い致しましょう。会場は志木高で、『収穫祭』当日の10月26日（土）です。

来月から「定例四木会のお知らせ」の中で情報を送付したいと思います。

メールが届いていない方は是非メールアドレスをお知らせください。info@keio-shikikai.jp 気付千葉宛まで。

13期 千葉宗雄



平成19年11月志木会大会後の2次会・貴奈での集合写真

14期 同期会便り

14期同期会は、平成24年11月29日（木）に「東京タワー」と今年開業した「東京スカイツリー」が見えるスカイ・レストラン

「サリュ・コパン」で開催しました。月末の平日の夜でしたが、36名が出席。すでに17名が逝去されており、冥福を祈って黙祷を捧げた後に奥村君の司会で小林君の開会の挨拶に続き、築山君の発声で乾杯して懇談に入った。

「修学旅行」や「球技大会」などの志木高での思い出に花が咲き、楽しい一夕を過ごすことができた。

最後に肩を組み「若き血」を合唱して次回（“古希”を迎える頃）の再会を約して散会した。

14期 今村 巍

15期

「亦楽会」 真壁町震災復興ライブ見聞記

東日本大震災で大きな被害を受けた茨城県桜川市真壁で一昨年に続き昨年9月にアコースティック・ギタリスト吉川忠英君の震災復興支援ライブが開催され、同期の連中4人を誘い観てまいりました。昨年同様、会場は同期の西岡（旧姓橋本）勇治君が経営する清酒花の井「西岡本店酒造」の酒蔵に運搬用のパレットを積み上げて造ったステージの酒ぐら劇場です。さて、ライブの方ですが吉川君の最新アルバム「AIRY FACE」と「AQUA FACE」などに収められた曲に加え東北ツアーの途中、宮城県の被災地で目にした中学生を見てつくった新曲「三陸少年」なども紹介され、あっという間の2時間でした。一昨年のライブの折には、NHK茨城のクルーが来て翌日の全国ニュースで取上げられましたが、今回も翌日のNHKローカルニュースで放映されました。最後に震災からの復興状況ですが、創業230年を超す「西岡本店」には国指定登録文化財の土蔵があるため、国の許可な

しには補修に手が付けられず、まだ工事中の箇所がところどころにありました。今年9月8日（日）に予定されている復興ライブでは改修終えた土蔵を見ることが出来るそうです。

15期 倉田伸二



16期 志世会

「志世会」（16期同期会）会員諸氏は皆今年65才を越えました。皆さん従来にも増して元気に過ごされているはずですが、一方で2月志世会に多大な貢献のあった野口信一君が急逝、3月蹴球部OBの小泉宇幸君の訃報と悲しい報せが相次ぎました。心よりご冥福をお祈りするとともに、私達も自身の健康を過信せず有意義に毎日を過ごして行きたいものです。

さて、志世会定例総会が9月8日（土）に東京一橋の「喜山倶楽部」で開催され、30余名の同期生が和やかに旧交を温めました。出席者も年齢を反映して、地方勤務で定年退職し東京に戻った同期、責任ある地位から引退した友など、これまで会えなかった人々の参加が増えてきております。総会での各自の挨拶も時間的余裕からか、これからは昔の仲間との関係復活に臨みたいと述べる方が多かった様です。（志世会開催日は9月第二土曜日に固定されており、本年は9月14日です。皆様の年間予定表に記入

願います。）

毎月第四木曜日に開催される「月例志世会」（秋葉原の万世本店地下1階「呉越同舟」で開催の議事無しの飲み会。18時～20時）は、おかげ様で固定メンバーも増え、8～15名程度の出席者があり行事としてすっかり定着しました。最近では日程に合わせて海外・地方から出張し参加する友もあり、毎回期待と驚きに満ちた会合となっております。予約不要、飛入り参加大歓迎ですので、気軽に会社・出先から寄り道をして飲みにお越しください。

第9回志世会ゴルフコンペは4月10日（水）にアスレチックゴルフ倶楽部にて11名参加で開催され緒方信次君が優勝し松谷洋君の四連覇を見事に阻止しました。当日は好天で三分咲きの八重桜の下、気持ちの良いプレーができた由です。尚、今秋の第10回コンペは9月25日（水）です。こちらでも予定表に記入して下さい。

同期諸氏、今年もそれぞれの行事でお互い元気な顔を見せようではありませんか。

16期 近藤隆夫



20期 同期会便り

2月20日に毎年恒例の同期会を六本木で開催し、26名の方が参加され楽しいひと時

をすごすことが出来ました。まだ現役で仕事をしている方、リタイヤした方と皆それぞれですが、気持ちは高校生に戻り盛り上がっております。ただ、孫の話、健康のことなど年相応の話題に移ってきておりました。

今回参加できなかった方はぜひ次回ご参加ください。

<お願い!>皆様をご存知の同期の方のメールアドレスを金子までご連絡ください。現役引退などで現在の情報が古くなり連絡できない方が増えております。またご自身のアドレスを変えられたときにもご連絡ください。

20期 金子博志



24期 活動報告

私たち第24期はその名にちなんで「にしき会」と命名しました。「にしき会」の主な活動は年2回、2月と8月に懇親会を開催、その他ゴルフコンペなどしており同期の親睦を深めています。前回は平成25年年2月20日、前々回は平成24年8月9日に新宿伊勢丹会館で行いました。

志木高は男子校なので当然集まるのは男ばかりでしたが、前々回からは119期三田会でコンタクトのある女子高の同期の方々

をご招待することとしました。別添の写真は平成24年8月9日に開催された「にしき会」の様子です。とても華やかな会になりました。ご参加頂いた女子高の同期の方々ありがとうございました。今まで「にしき会」にお越しにならなかった方も次回には是非ご参加ください。「にしき会」の運営は田中秀紀君がしていますのでこの機会に是非ご連絡ください。また皆様とお会いできることを楽しみにしています。

24期 関口 隆



26期 同期会だより

昨年は同期の田中成之君が11月にご結婚され、ウェディングパーティーには多くの同期が駆けつけました。

さて、26期の武田浩二君は白馬（和田野）にペンションを所有されています。

冬季は、スキーをされる外人さんに一括貸していますが、スキーシーズン以外は一般営業されていて、同期がよく利用するようになっています。（写真ご参照）

これまで、このロジに宿泊した同期は以下のメンバーです。（敬称略）

（田中成之、片野雄司、町田秀隆、善木達明、安保清史、渡辺潔、関知良、加文字実、笠原次郎、金田一郎、守谷たつみ、山田純

男)

近くには、沢山の温泉場があり、キャンピングなどのアクティビティも豊富です。

白馬和田野ロッジ (<http://www.wadanolodge.com/>)

また、7月5日(金)には26期の同期会、「26会」が、同期の清水一君が経営する「青山ティーファクトリー」(<http://a-teafactory.com/>)にて午後7時から行われます。

同期の方でご都合が付く方はどうぞご参加ください。

26期 山田純男



28期 同期会報告

幹事伊能重雄氏のご尽力により、H25/5/17 18:30～銀座 BRB にて28期同期会が開催されました。

4年目を迎えた今年は、出席者18名と例年より少なめではありましたが、楽しいひとときを過ごすことができました。

今回ご出席頂いた方々、残念ながらお会いできなかった方々も、本年11/9の志木大会と次回の同期会でお会いできます事を楽しみにしております。

28期の皆様は、今後の同期会イベントのお知らせの為に是非、info@keio-shikikai.jp 気付28期大館宛 メールアドレスをお知

らせください。

同期の方の消息、情報をご存じの方、また、皆様の近況報告等もお寄せ下さい。

28期 大館 信



33期 同期会便り

私達第33期は、去年の「128期慶應義塾卒業25年」のイベントを前に“まずは志木高同期の絆を深めよう”と同期8名が発起人となり、同期会「燦々会(さんさんかい)」を立ち上げました。

メール・フェイスブック等で連絡先の輪を広げており、先般1月19日(土)に志木高食堂をお借りして「第3回燦々会」を実施しました。

当日は、3年次担任であった龍田元教諭・渡部元教諭・松崎元教諭にも参加いただき、総勢50名を超えるメンバーが集まりました。

収穫祭実行委員長の名司会の下、近況報告や昔話に花が咲き、志木高内それも教諭の前で平然とタバコが吸えるといった喜びの声?(当日は食堂前で喫煙可とさせていただきました)、懐かしの中華丼・かつ丼が食べたい等々話は尽きず、夜9時過ぎまで懐かしい場所で昔に還る一時を過ごしました。

次回は、11月の志木会大会で再会することを約束して散会となりました。

33期 河野 潔



バスケットボール部創部 50周年記念パーティー

去る平成23年11月30日午後6時半より、ANA インターコンチネンタルホテル東京にて慶應義塾志木高校バスケットボール部創部50周年記念パーティーが開催された。

当日は、志木高校高橋校長をはじめ後藤元教諭・大谷元教諭・松崎元教諭他歴代部長、慶應義塾體育會バスケットボール部関係者など12名の来賓をお招きし、OB122名、現役選手31名、保護者12名の総勢170余名が一同に集まり、盛大に50周年をお祝いした。

今回のパーティーは、バスケットボール部のOB会組織である「野火止会」により1年余の準備を経て開催に至った。

パーティーは、塾歌斉唱、野火止会江川会長（昭和43年卒）のご挨拶、百瀬先輩（昭和39年卒）による乾杯ご発声により始まった。歓談の後、高橋校長・後藤初代部長・大谷體育會バスケットボール部部长のご来賓各位のご挨拶と続いた。あいにく慶

應義塾清家塾長、慶應義塾體育會宮島理事は公務等によりご出席頂けなかったが、今回のパーティー開催にあたり祝辞のメッセージを頂戴し、参会者に披露された。

バスケットボール部では、野火止会有志が年代を超えて協力し合って5年毎に創部記念パーティーを開催しOB間あるいはOB・現役選手間で積極的に交流を進めている。創部50周年という節目にあたる今回のパーティーでは、これまで以上に多くのOBと現役選手が交わりあい、悲願のインターハイ出場を目指し現役選手が今まで以上に鍛錬に励み、充実した高校生活を送ってくれることを期待し語り合う機会としたいとの思いで開催された。会場にはOB諸氏から提供された思い出の写真や資料が提示され、サイレントオークションのイベントも同時に行われ、盛り上がりを見せた。

その後、矢沢監督（昭和57年卒）・佐野コーチ/教諭（昭和59年卒）の挨拶、現役加藤主将の決意表明と続き、創部50周年の記念品贈呈と続き、野火止会栗崎副会長（昭和50年卒）による中締めの後、松島先輩（昭和55年卒）の指揮の下、参会者全員で「水の王者 慶應」を高らかに歌い上げ、和やかなうちに午後8時半に散会となった。

棚橋慶太



湘南藤沢中等部・高等部との交流を終えて

中地 譲治 (国語科)

2013年3月21日が湘南藤沢高等部の卒業式、担任をしていた6年D組、最後のホーム・ルームでの写真です。藤沢は担任が二人制なので「私のクラス」という言い方は「平松さんと私のクラス」という言い方になるという説明は必要でしょうか。担任ペアだった小川さん、ケンプさん、そして交流三年目の最後は平松さん、心から感謝申し上げます。そのことにもまして、学年、教科部会、委員会、そして部活動、ご一緒したすべての藤沢中高の教職員の皆様に、お世話になりました、ありがとうございましたと、この場を借りてお礼申し上げます。



「そのことにもまして」と述べたのは、決して個人への感謝の気持ちが薄いということではありません。藤沢中高と志木高との違いを肌身でとらえた上での実感なのです。法律用語でしょうか、「属地」と「属人」という対照的な意味を表す言葉があります。英語ではドメスティックとパーソナルという言葉で理解するのがよいでしょう。何を基軸にして制度や機構を組織するかという観点に立った時、私が感じる藤沢と志木との違いが、属地的か属人的かなのです。

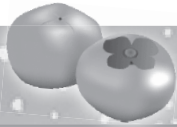
藤沢は中学生と高校生、さらに女子生徒と男子生徒からなる共同体であるのに対して、志木は男子高校生だけという両者の違いは、求められる組織的な性格を大きく異にするのも当然です。生徒の多様性に対して、横の連絡を緊密に取り合いながら、ぶれのないように組織的に対応している藤沢の教職員が醸成しているパートナーシップは、誰がつくりだしたのでもない属地的なものです。しかし、それぞれの教職員がその地にしっかりと根付いて、それぞれに美しい花を咲かせていて、その花畑に一輪の花が欠けていたら全体の調和が崩れるような、絶妙な平衡があるということの特筆しておきたいと思います。

志木の教員は個性的だと言われています。その昔は「よしじい」とか「モルじい」とか、Gという尊称をもって親しまれた先生方があまたおられました。けだし、それらの個性はとけあうことはありませんでしたが、あえてとけあわそうとしなくとも志木高独自の校風が育まれていました。あけすけでごっかけないけれど有情の交流がありました。それが属人性のよさでしょう。しかし同時に、素の個性のままであることの危うさも十分に承知していたからこそ、教員会や所属分掌では徹底した、それも少数意見を尊重し、壟断することのない議論がなされました。再び志木に戻ったからには、またその渦中に身を置くことを待望します。

私は教員になってからの十年間は二校の女子中高一貫校に勤務しました。藤沢では女子生徒に再会できたことによる懐かしい気分を味わいましたが、彼女らの学習成果の充実に巻き込まれながら成長する男子生徒の幸せは、志木高生にはおとずれないので、逆に男子校のよさを挙げたいと思うのですが、なかなか浮かびません。女子高生の来校しか期待しないような収穫祭が惨めに思えてならないのも、その理由の一つです。

私自身は昨年の修学旅行中に、宿泊したホテルの夕食会場で、まったく不意に、歓声の直後の合唱とともに、パースデー・ケーキとクラス全員の寄せ書きを手渡されて、その幸せに浴しました。感涙にむせび、体が震えました。不死の沢で蘇ったという物語は夢ではありません。はじめの私の写真の表情に、そんな出来事が刻まれているのでしょうか。

さて、またこれから、志木会の皆様と手を携えて、志木高独自の学びの風土を、さらに深く豊かにしていくために努力する所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



収穫祭のお知らせ



生徒会 収穫祭実行委員長 小林 謙太

皆さんこんにちは!! 平成 25 年度収穫祭実行委員長の小林謙太と申します。

先日、収穫祭実行委員会の最初の仕事であるテーマ決めを行いました。今年のテーマは「Aquarhyism」です。

Aquarhyism は aquarium と rhyism を合わせた造語です。aquarium というのは今年の収穫祭のイメージを表します。rhyism とは rhythm のスペルを変えたものです。rhythm の調和という意味、そして ism の主張という二つの意味があります。このテーマには「一人ひとりが個性を発揮し主張しつつも調和をとって、素晴らしい収穫祭をつくりあげよう」という我々実行委員の熱い思いが込められています。

また、収穫祭を何のため、誰のためにつくるのかということを実行委員一同考えなければならないと思っています。もちろん自分達のためでもあります。収穫祭に足を運んでくださる来場者の方々の楽しませること、OB の方々が代々築いてこられた収穫祭の伝統を守ること、志木高生全員を盛り上げることが一番大事です。収穫祭は私達だけで行えるものでは決してありません。様々なつながりによって収穫祭を行うことができる幸せを感じながら、今年の収穫祭を全力でつくっていききたいと思います。

最高のメンバーと共に志木高が最も熱くなる 2 日間に向かって本気で努力してまいりますので、今年も収穫祭の応援をよろしくお願いいたします。そして当日ぜひご来場下さり、感動していただければ幸いです。

本年の収穫祭は、10 月 26 日（土）・27（日）に開催されます。

詳しくは志木高等学校ウェブサイトか、志木会メールマガジンを御覧下さい。

13 期／38 期ホームカミングデーのお知らせ

今回で 8 回目を迎えますが、収穫祭の 1 日目に卒業 25 周年および卒業 50 周年の方々をお迎えして、合同ホームカミングデーを開催いたします。

懐かしい教員の方々、志木会会員の皆様との懇親を中心に簡単な立食パーティーを行います。

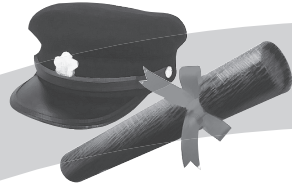
13 期 & 38 期のみなさまはお誘いあわせの上、奮ってご参加下さい。

日 時：平成 25 年 10 月 26（土）12：00 ～（予定）

場 所：志木高 3 階会議室

会 費：無料

申 込：出席ご希望の方は事務局までご連絡下さい



卒業式に招待されて

森田 榮一

我々 23 期は、卒業 40 周年の記念に卒業式に招待されました。毎年 3 月 24 日が志木高の卒業式ですが、今年は日曜日となったので、なんと 100 名の参加申し込み、病欠 2 名で 98 名が集うことが出来ました。

3 年ほど前に 40 周年で卒業式に招待されると知り、何曜日になるか調べたところ、ちょうど日曜日になるとわかり、100 名で参加しようと目標を立てた次第です。2 年前から名簿の整備をはじめ、特にメールアドレスを集め、メーリングリストに登録していただくよう働きかけました。結果、160 名がメーリングリストに登録してくれました。

この地道な準備により、多くの同期と連絡が簡単にとれるようになり、前年の 10 月から事前に案内を流し日程を確保してもらいました。学校からの招待状は 2 月初旬に郵送していただけるのですが、もうその時点では 70 名超の参加が見えておりました。メールで誰が来るよ～と流すと、俺も俺もと、どんどん参加者が増えていきました。幹事団と学校関係者も緊密に連絡しあいましたので、ご迷惑は最小限で済んだと思います。

体育館では正面に向かって右側に OB が並びますが、98 名というのは現役 2 クラス分ですから、かなりの存在感があったと思います。

ダークスーツにネクタイ着用というドレスコードも設定し、それなりに威厳を確保しようと気を遣いました。何回か卒業式には出ているのですが、大 OB が参列するのは卒業式自体を良い雰囲気に行っていると思います。20～30 名では寂しく、1 クラス程度の 40 名以上で存在感が出てきます。これからの皆さんも、卒業式の招待は特別の行事としてなるべく多くの人が参加し卒業生を見送ってあげましょう。

58 歳という年回りは、いろいろな「見送り」を経験することになります。子供を社会人として見送ったり、親と死別して見送ったり、自分自身を第 2 の人生に見送ったりと。何かに追われ続けた心情が変化していく時期でもあります。このようなタイミングで志木高同期との交流が多数で復活するのは、素晴らしいことだと思います。皆さん 40 年前にタイムスリップして「良い学校で、良い仲間と、良い時間を過ごしたと」改めて母校愛を感じていたようです。集合写真の 58 歳のオジサンたちの顔、高校生のような笑顔に見えませんか？ 小さくて見えないですか、残念です。本当に高校生のような笑顔だったのです。

次は 10 年後の卒業 50 年で収穫祭に大集合です。



平成24年度慶應志木会 収支報告書（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

単位：円

収 入		支 出	
摘 要	金 額	摘 要	金 額
前 期 繰 越 金	13,389,087	会 報 費	2,131,500
維 持 会 費	2,154,000	会 議 費	606,392
新 入 会 費	1,430,000	式 典 費	80,000
物 販 収 入	70,000	交 際 費	324,562
幹 事 会 費	186,000	通 信 費	41,015
雑 収 入	13,706	手 数 料	15,340
預 金 利 息	1,057	事 務 費	340,580
		パ ソ コ ン 関 連 費	195,698
		収 穫 祭 寄 付	300,000
		卒 業 式 寄 付	300,000
		卒業生記念品・志木会賞	762,930
		事 業 費	89,590
収 入 小 計	3,854,763	支 出 小 計	5,187,607
		次 期 繰 越 金	12,056,243
合 計	17,243,850	合 計	17,243,850

預金残高明細（3月末現在）

単位：円

（銀 行）	（種 別）	（適 用）	（管 理）	（残高金額）
り そ な	普 通	一 般	増 山	1,297,840
埼玉りそな	普 通	入会金	増 山	1,363,213
郵 便 局	振 替	会費口	増 山	2,647,600
郵 便 局	普 通	会費口	増 山	5,497,949
郵 便 局	振 替	名簿代	増 山	0
三井住友	普 通	小 口	金 森	817,037
埼玉りそな	普 通	小 口	竹 内	432,604
り そ な	普 通	寄 付	増 山	0
合 計				12,056,243

監査報告

慶應志木会会則第18条に基づき、平成24年度（平成24年4月1日～平成25年3月31日）の会計監査を実施いたしました。

その結果、会計処理につきましては適正に処理されていることを此処に承認します。

平成25年5月9日

監 事 千葉 宗雄

監 事 原田 薫

慶應志木会 役員・幹事・クラブ幹事

■役員■

名誉会長 高橋 郁夫 (校長)
 会長 松下 賢次 (21期)
 副会長 大塚 彰 (主事)
 増山 治一郎 (17期) (会長不在時代行)
 財務担当
 金子 博志 (20期) 情報管理担当
 中村 弘司 (23期) 事業担当
 山崎 嘉正 (26期) 総務担当
 監事 千葉 宗雄 (13期)
 原田 薫 (15期)
 幹事長 阪東 宗文 (16期) (会長不在時代行)
 事務局長 山崎 嘉正 (26期)

事務局幹事 金子 康雄 (22期) 会報担当
 小川 洋 (25期) 事業企画担当
 山田 純男 (26期) 総務担当
 金森 悟 (27期) 財務担当
 大館 信 (28期) 事務局長補佐
 相田 英文 (29期) 幹事長補佐
 大澤 宏樹 (35期) 企画担当
 宇野 宏 (35期) 総務・会報担当
 天野 徳雄 (36期) 財務担当
 大久保佐太郎 (55期) 総務・会報担当

■顧問■

顧問 櫻井 英太郎 (1期) 龍野 和久 (1期)
 宮田 勝 (5期) 多田 毅 (7期)
 五老 輝彦 (9期) 品川 雅貴 (12期)
 本橋 重夫 (15期) 鹿野 元章 (16期)
 西村 孝一 (17期)

■幹事■

期	幹 事									
1	藤井 淳	松本 仙太郎								
2	遠山 正秀	惣滑谷 岱司	河邊 勝利							
3	品川 仁	岩崎 勝利	菅野 光男							
4	藤岡 民良	高橋 公郎	伊藤 金次郎	三浦 靖夫						
5	寺嶋 延行	小林 石三	関山 清							
6	真野 信裕	松本 福太郎	茂木 光義	梅澤 勉						
7	熊崎 順次郎	鈴木 正治	渡辺 正							
8	青木 宏至	品川 宗弘	大須賀 均	磯部 和宏						
9	南部 達雄	佐々木 弘暢								
10	馬場 紘二	斉藤 彰	細井 延昭	吉川 忠裕						
11	馬淵 祥宏	鴻田 益孝	森原 孝夫	菅谷 正樹						
12	川久保 達也	岡田 幸次郎	原田 雄介	並木 美和						
13	清水 武寿	椎野 開八郎	山本 雄一	飯島 智						
14	小林 好二	築山 正俊								
15	小笠原 準一	倉田 伸二	深瀬 啓司							
16	川端 清治	工藤 親彦	近藤 隆夫	橋本 幸男						
17	莊 敬典	北村 基樹	前嶋 晶廣	野村 真	中村 康二	川鍋 二郎				
18	伊藤 博行	黒田 豊	徳永 良							
19	中西 廣策	星野 恭一郎	村上 功治	三浦 秀男						
20	中 一弥	杉 雅俊								
21	飯島 敏一	福地 敏之	内山 洋一	折登 泰樹	小林 哲男	森 光太郎				
22	櫻井 造雄	三木 哲郎								
23	夏目 雅	梅澤 由起	森田 榮一	三義 英一	坂上 隆彦					
24	赤木 均	島影 幸有	田沼 潔	京本 修						
25	高橋 宣行	島田 徹								
26	船山 剛	小池 雅澄	善本 達明	澤田 尚史	中川 龍士	荻原 弘幸	渡辺 規人			
27	鬼頭 真一郎	永井 利宗								
28	伊能 重雄	池田 欽哉								
29	大熊 伸治	鳥羽 克治	清重 利昌							
30	岸田 一男	原田 仁敦	佐藤 正人	新 隆文						
31	荻田 健之	福島 聡	布施 浩之	梶原 靖友	内匠屋 健					

32	町野 素久	横江 資友	梅田 幸彦	鈴木 厚			
33	小玉 裕	河野 潔	青木 勝				
34	大内 正博	山下 孝	古長 玄一郎				
35	須佐美 文忠	昌谷 健司					
36	笛木 儀久						
37	鍋島 康友	永田 博詳	植島 博之	田内 久晴	原田 純一		
38	知久 康成	中里 榮基	金子 隆則	荒瀬 光宏			
39	丸山 和紀	田中 浩樹	大西 重夫				
40	井上 晴生	税所 篤史					
41	柏木 徹	三田 貴良					
42	安 重煥	小島 圭	御山 義明				
43	藪原 一暁	高松 智之					
44	宮田 真詩						
45	若松 洋雄	小山 一	小川 圭				
46	谷口 剛	川崎 聡					
47	小寺 俊且	谷 嘉康	森 茂之	西本 祥仁	濱岡 勇介	小林 圭	
48	亀山 雄高	黒川 真行	寺西 富広				
49	石川 快	廣江 安彦					
50	高岡 功	徳田 征之	小林 敬英	齋藤 収			
51	石井 強太	森川 渉	浅岡 良彦	治田 和明			
52	毛呂 淳一朗	渡邊 慶太郎					
53	森岡 多門	林 憲					
54	塚本 大夢	中川 雅之					
55	池端 俊太	小泉 貴史					
56	大久保 匠馬	若林 隆晃	横澤 慶太				
57	和田 亮	時田 亜希夫					
58	宮山 明	佐藤 友紀					
59	箱崎 勇人	本多 清礼					
60	岡田 哲哉	中込 健太	工藤 雄太				
61	井上 裕紀	富澤 直嗣					
62	荒木 謙人	岡本 尚之					
63	星野 真瑠也	星野 宏太					

■ クラブ幹事 ■

テニス部	田中 真介 (17期)	バレー部	進藤 英典 (23期)	枇杷の会	深瀬 啓司 (15期)
サッカー部	中村 直人 (38期)	スキー部	渡辺 一仁 (51期)	ワグネル	山浦 元気 (61期)
バスケット部	棚橋 慶太 (32期)	野球部	小川 光二 (17期)	ワグネル	南 琳太 (61期)
卓球部	浅生 潤 (23期)	ホッケー部	菅野 芳哉 (29期)		

< 訃報 >

藤井 洵君 (5期)
 野口 信一君 (16期)
 ご冥福をお祈りいたします

編 輯 後 記

毎年「同期会便り」を見て思うのですが、卒業後30年が、同期会立上げの主要タイミングのようです。私は卒業後8年程度しか経っていないので、あと20年以上ありますが、考えてみれば毎月志木高同期の誰かと飲んでいるので、案外小さな同期会はそこかしこにあるのかも知れません。

志木会報をさいごまで御覧戴き、ありがとうございました。また、原稿執筆にご協力戴いた会員の皆様方にも御礼申し上げますとともに、筆の遅い会員諸兄から原稿を取り立てて下さる事務局の竹内さんにも改めて深く御礼申し上げます。(さたらう)

慶應志木会会報 2013 ● Vol.33

編輯・発行	慶應志木会 (慶應義塾志木高等学校同窓会) 〒353-0004 埼玉県志木市本町4-14-1 Tel. 048-471-1959 (志木高内)
発行人	松下賢次
発行日	平成25年7月20日
印刷	(株)精興社
ウェブサイト	http://www.keio-shikikai.jp/
電子メール	info@keio-shikikai.jp